



嘉手納町立学校共同調理場
電話: 956-3106

朝晩は涼しく、沖縄も秋の訪れを感じられるようになっていきます。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなります。生活リズムを整え、健康管理に気をつけましょう。また、秋は実りの秋、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋といろいろな秋がありますが、皆さんはどの秋が好きですか？たくさんの秋を楽しみましょう。



10月は『「世界食料デー」月間』です。

世界食料デーとは？

10月16日は国連が制定した、世界の食料問題を考える日です。日本では、10月を「世界食料デー」月間としてさまざまなイベントが開催されています。世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食料が生産されているのに、8億2000万人が飢えています。一方でたくさんの食べ物を輸入しながら、たくさんの食べ物を私たちはむだにしています。世界では毎年、食用に生産されている食料の約3分の1が食べる前にむだになり、捨てられています。世界食料デーをきっかけに、私たちが毎日食べているものはどこから来ているのか考え、作ってくれた人に感謝し、自分たちが食べ物をむだにしないために、どうすべきか考えてみましょう。



普段の食事や学校給食で出来ること

苦手な食べ物が出たときや、初めて食べる料理があった時「食べたくない」「残しちゃおうかな」と思って残してしまった人はいませんか？あなたが残した「ほんの少し」が集まると、たくさんの量になってしまいます。食べられる量を配膳する、もうひと口食べられないか、頑張ってみようという気持ちも大切ですね。

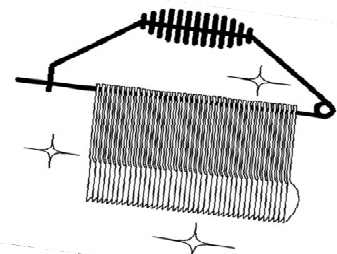
10月の県産無償食材提供

今月は、3つの無償提供食材の紹介をします。

- 10月8日(金)「黒糖アガラサー」は、「JA共済地域・農業活性化促進助成金」により、JAおきなわから無償提供されます。消費が落ち込んでいる黒糖について、沖縄黒糖や伝統食の魅力、さとうきび農業の大切さを伝えていきたいという思いが詰まったアガラサーです。
- 10月14日(木)「ヤイトハタ」を汁物で提供します。コロナ禍の経済対策において、県産水産業生産面への影響をさげ、県産水産物を知ってもらうことを目的にしています。
- 10月28日(木)「ひと口黒糖」は、コロナ禍で影響を受けた、観光客向けの県産菓子の魅力を発信するための沖縄県補助事業で、沖縄県の児童生徒に、菓子商品を無償提供されます。

フォークが登場します！

これまで給食は、はしとスプーンのどちらかを使って食事をしていましたが、今月から、スパゲティなどの献立の時には、フォークが使えるようになりました。ピカピカの真新しいフォークで、さらに給食をおいしく、楽しい時間にしていただけたらうれしいです。フォークは、スプーンと同じフォルダーに通してあります。片付けの際は、スプーンと同様、同じ向きになるようさしてくださいね。



★今月のうちな～むん★



ぶたにく



とりにく



きのこ



シズイ

～給食で使われる県産品を紹介～

天候によって、産地が変更になる場合もあります。

嘉手納町内の農家さんが作った野菜



こまつな